

決算補足説明資料

FY23 通期

2024年2月13日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY21：2021年12月期

FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY24：2024年12月期

FY23 通期連結業績

- 11月13日付修正予想を上回り着地
- 売上収益及び営業利益は、増収増益
- 当期利益は、前期の株式売却益の影響を除くと、増益
- 個社別では、テイボーは減収減益、AlphaThetaとJLabは増収増益で着地
- 配当は、配当性向40%として、対予想+66円の115円

FY24 通期連結業績予想

- 為替レートはFY23と同水準で策定
- Seratoについては、クローリング前のため予想に反映せず
- 売上収益は、各事業の成長により、増収
- 営業利益及び当期利益は、前期の為替評価益の影響等により、減益
- 個社別では、テイボー、AlphaTheta、JLabいずれも増収増益を予想
- 配当は、継続的かつ安定的な配当を目指す方針のもと、116円に増配予想

Contents

- 1. FY23 通期連結業績**
- 2. FY24 通期連結業績予想**
- 3. 中期経営計画FY25更新**
- 4. トピック**

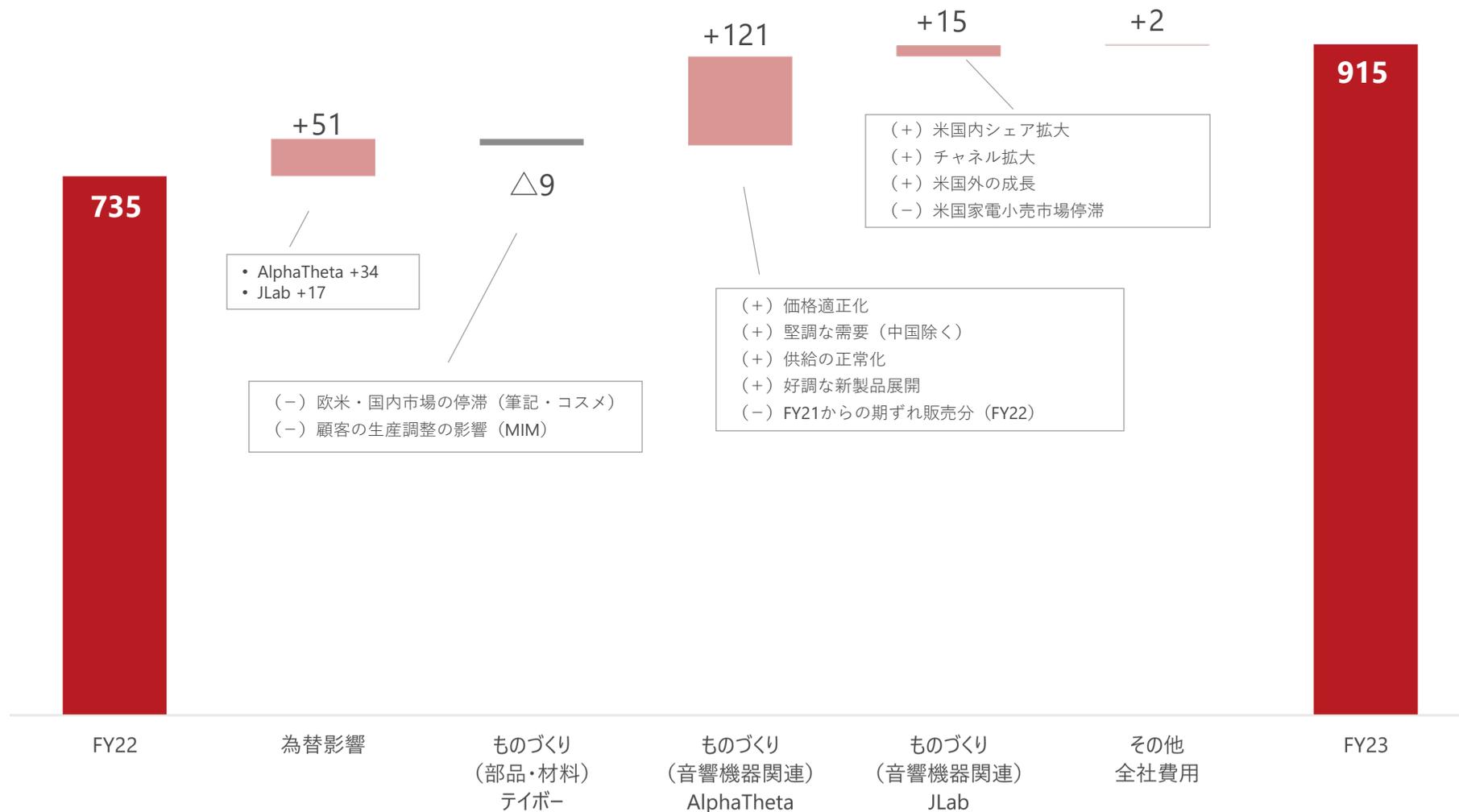
- 売上収益及び営業利益は、増収増益
- 当期利益は、前期の株式売却益の影響を除くと、増益

単位：百万円	FY22	FY23	増減額	増減率
売上収益	73,515	91,552	+18,036	+24.5%
事業EBITDA	11,367	17,875	+6,507	+57.2%
事業EBITDAマージン	15.5%	19.5%	+4.1%	-
営業利益	1,262	14,462	+13,199	+1,045.5%
当期利益	101,554	10,199	△91,355	-90.0%
為替レート (平均)	米ドル (円) 131.4	140.6	+9.2	-
	ユーロ (円) 138.0	152.0	+14.0	-
為替レート (期末)	米ドル (円) 132.7	141.8	+9.1	-
	ユーロ (円) 141.5	157.1	+15.6	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

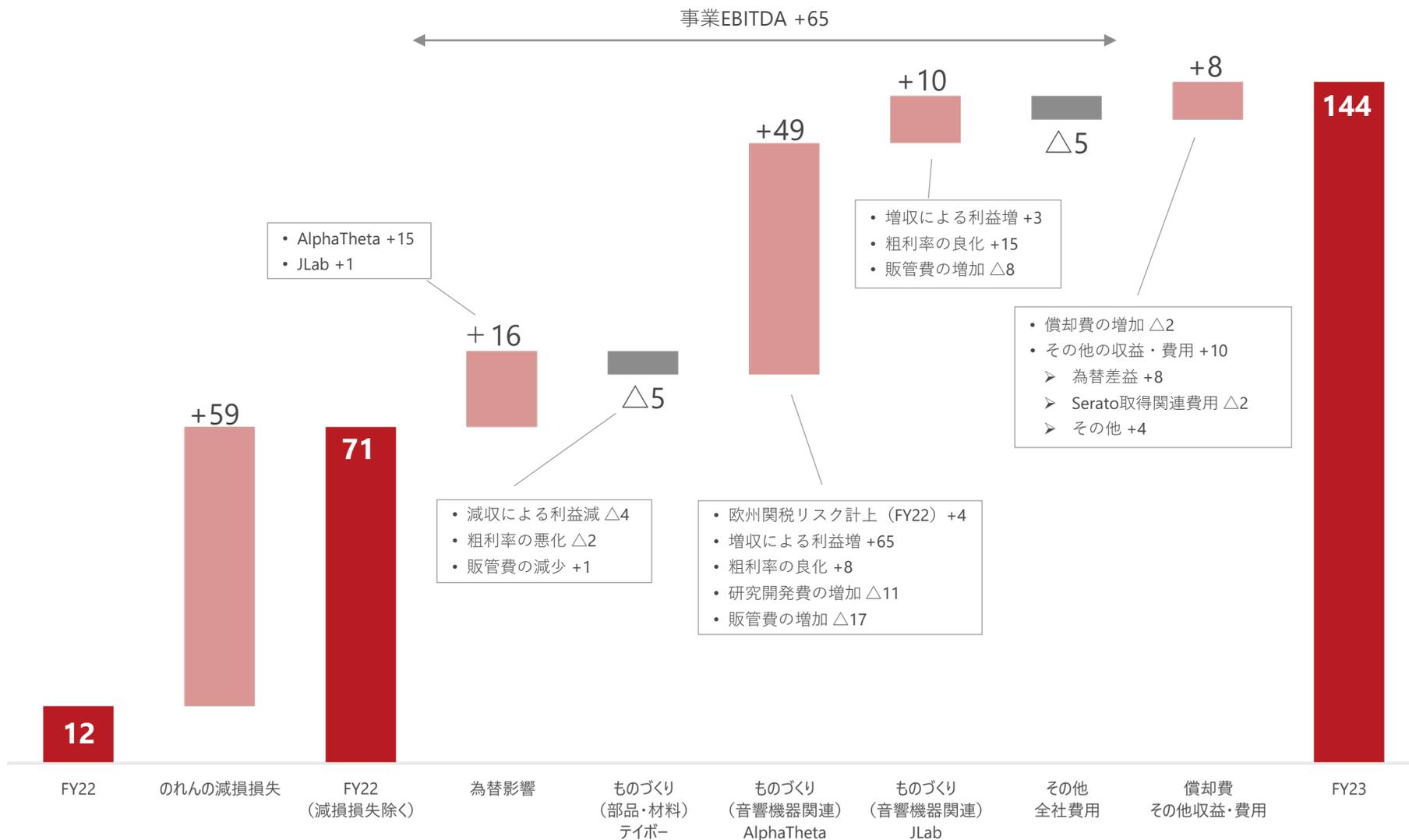
対前期

単位：億円



対前期

単位：億円



単位：億円

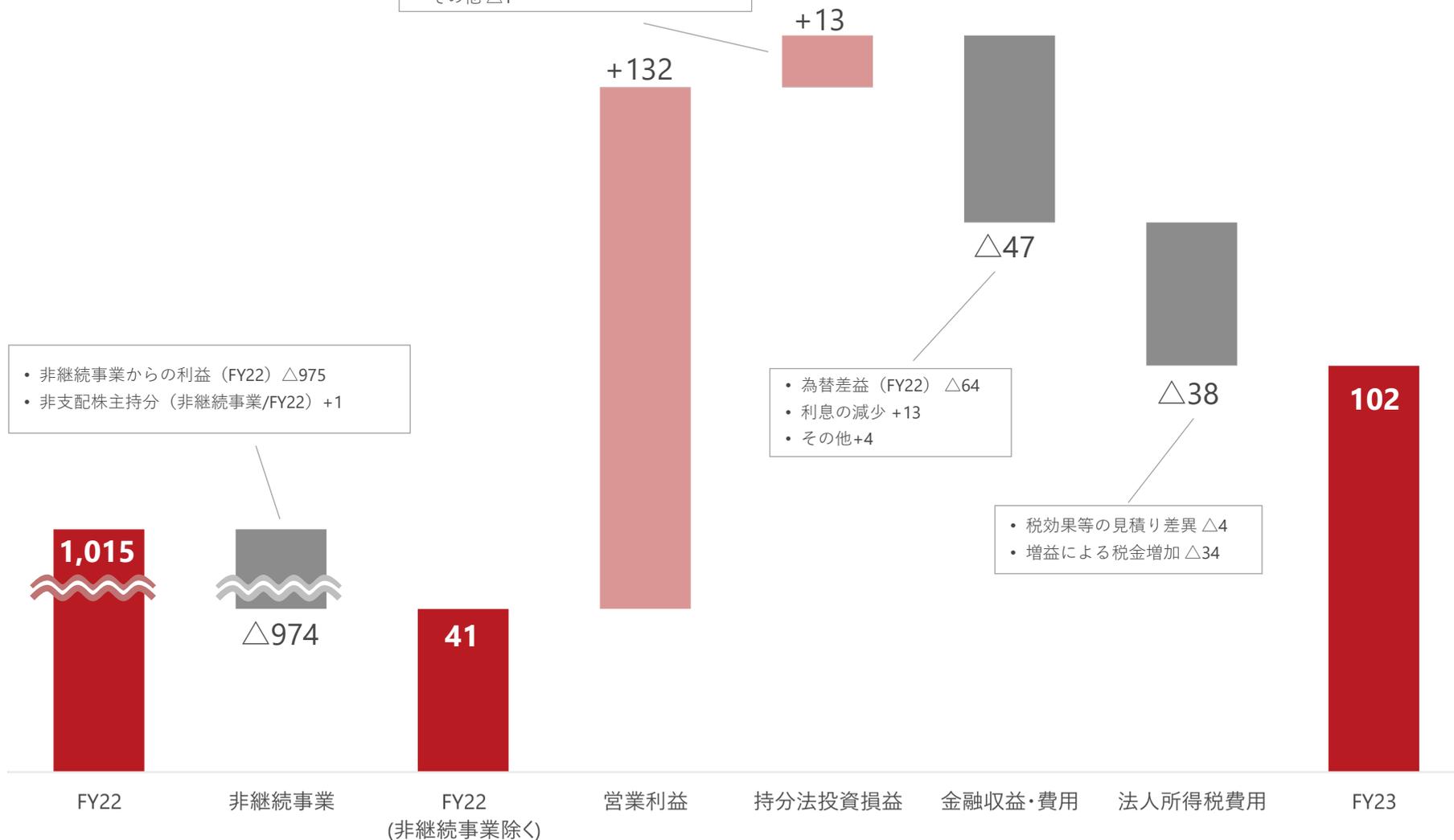
対前期

- 持分法適用株式の評価損 (FY22) +20
- 持分法適用株式の評価損 (FY23) △6
- その他 △1

- 非継続事業からの利益 (FY22) △975
- 非支配株主持分 (非継続事業/FY22) +1

- 為替差益 (FY22) △64
- 利息の減少 +13
- その他+4

- 税効果等の見積り差異 △4
- 増益による税金増加 △34



現金及び現金同等物は減少したものの、財務健全性を維持

バランスシート

単位：百万円	FY22	FY23	増減額
現金及び現金同等物	96,436	70,190	① △26,246
売上債権及びその他の債権	14,834	14,683	△151
棚卸資産	16,107	17,164	+1,056
のれん	48,589	49,256	+667
無形資産	78,302	77,125	△1,176
その他資産	52,986	51,051	② △1,935
資産合計	307,257	279,471	△27,786
仕入債務及びその他の債務	6,296	6,454	+158
借入金	48,054	39,016	△9,037
その他負債	60,012	28,155	③ △31,857
負債合計	114,362	73,626	△40,735
資本合計	192,895	205,844	+12,949

財務健全性

有利子負債	48,054	39,016	△9,037
現金性資産	132,200	91,700	△40,499
Net Debt	△84,146	△52,684	+31,462

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 △262億円
 - ・ 営業CF △315億円
 - 事業EBITDA +178億円
 - 営業活動に係る資産・負債の増減 +30億円
 - 法人所得税費用の支払い △536億円
 - ・ 投資CF +231億円
 - その他の金融資産の売却等+272億円
 - ・ 財務CF △188億円
 - 借入金の返済 △94億円
 - 配当金の支払い △55億円
- ② その他資産 △19億円
 - ・ 未収還付法人税等 +118億円
 - ・ その他の金融資産 △142億円
- ③ その他負債 △318億円
 - ・ 未払法人所得税の減少 △348億円

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY22	FY23	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,717	11,781	△935	-7.4%
	事業EBITDA	3,718	3,198	△520	-14.0%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	59,516	78,270	+18,754	+31.5%
	事業EBITDA	8,234	15,814	+7,580	+92.1%
AlphaTheta	売上収益	36,362	51,930	+15,568	+42.8%
	事業EBITDA	6,897	13,352	+6,455	+93.6%
JLab	売上収益	23,154	26,340	+3,186	+13.8%
	事業EBITDA	1,337	2,462	+1,124	+84.1%
その他・全社費用	売上収益	1,282	1,500	+218	+17.0%
	事業EBITDA	△586	△1,138	△553	-
連結合計	売上収益	73,515	91,552	+18,036	+24.5%
	事業EBITDA	11,367	17,875	+6,507	+57.2%

Contents

1. FY23 通期連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. 中期経営計画FY25更新
4. トピック

ものづくり（部品・材料）/テイボー

- ペン先は、筆記、コスメともに上半期は停滞が続くも、下半期から回復し、通期では成長
- MIMは、上半期は前年同期並みの水準で推移するも、下半期にかけて徐々に新規開拓が進み通期で成長

ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 欧米は、通年で堅調な需要が続く
- 中国は、停滞が続いていたものの、上半期で前年同期並みまで回復。通期では成長を見込む
- 商品開発や人員拡充の成長投資により、一時的に収益の伸びは鈍化
- Serato Audio Research Limitedの株式取得はクロージング前のため反映せず

ものづくり（音響機器関連）/JLab

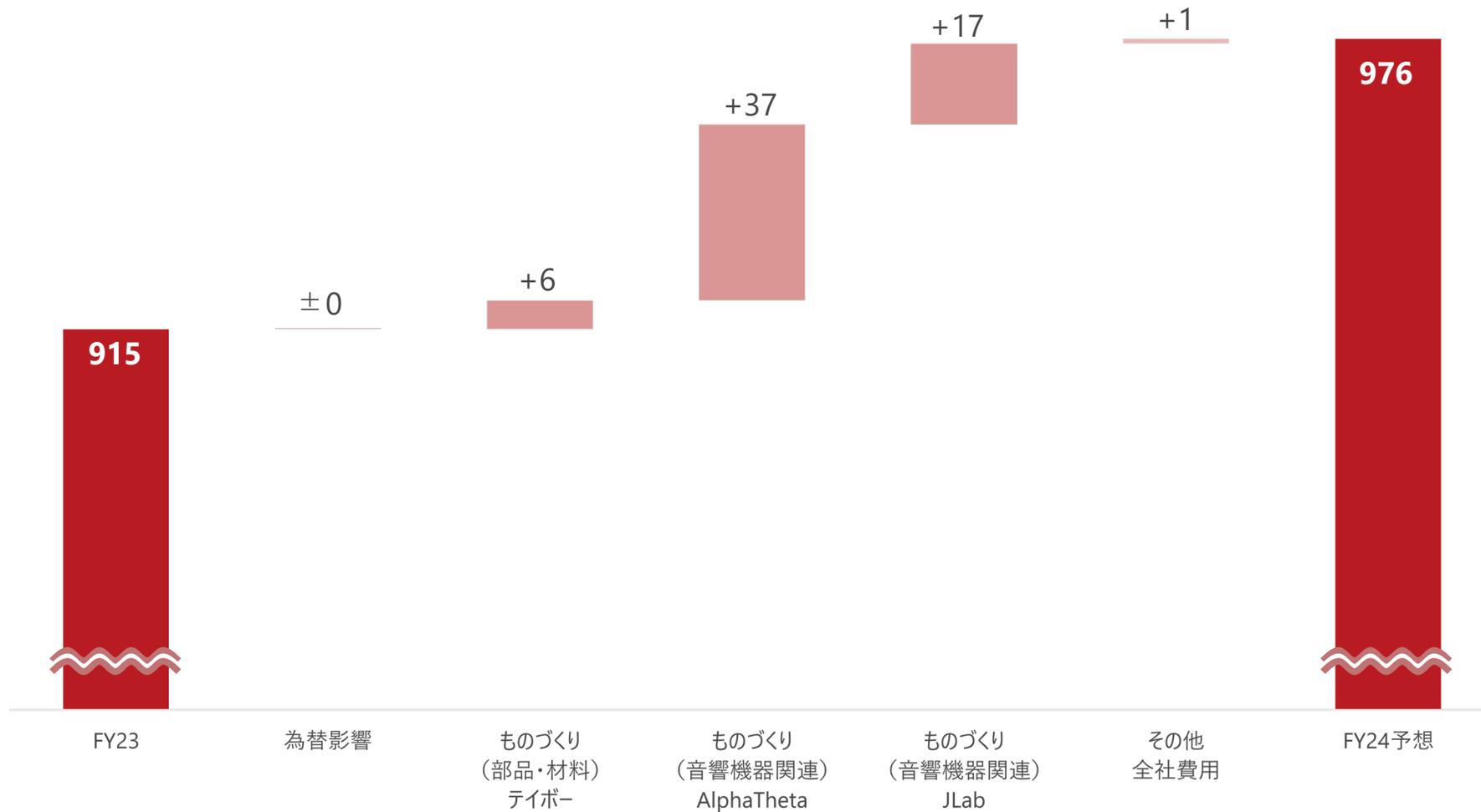
- 米国は、市場の落ち込みが続くものの、シェア拡大により成長
- 米国外は、新たな地域及び国への展開が進み、継続して成長

- 売上収益は、各事業の成長により、増収
- 営業利益及び当期利益は、前期の為替評価益の影響等により、減益

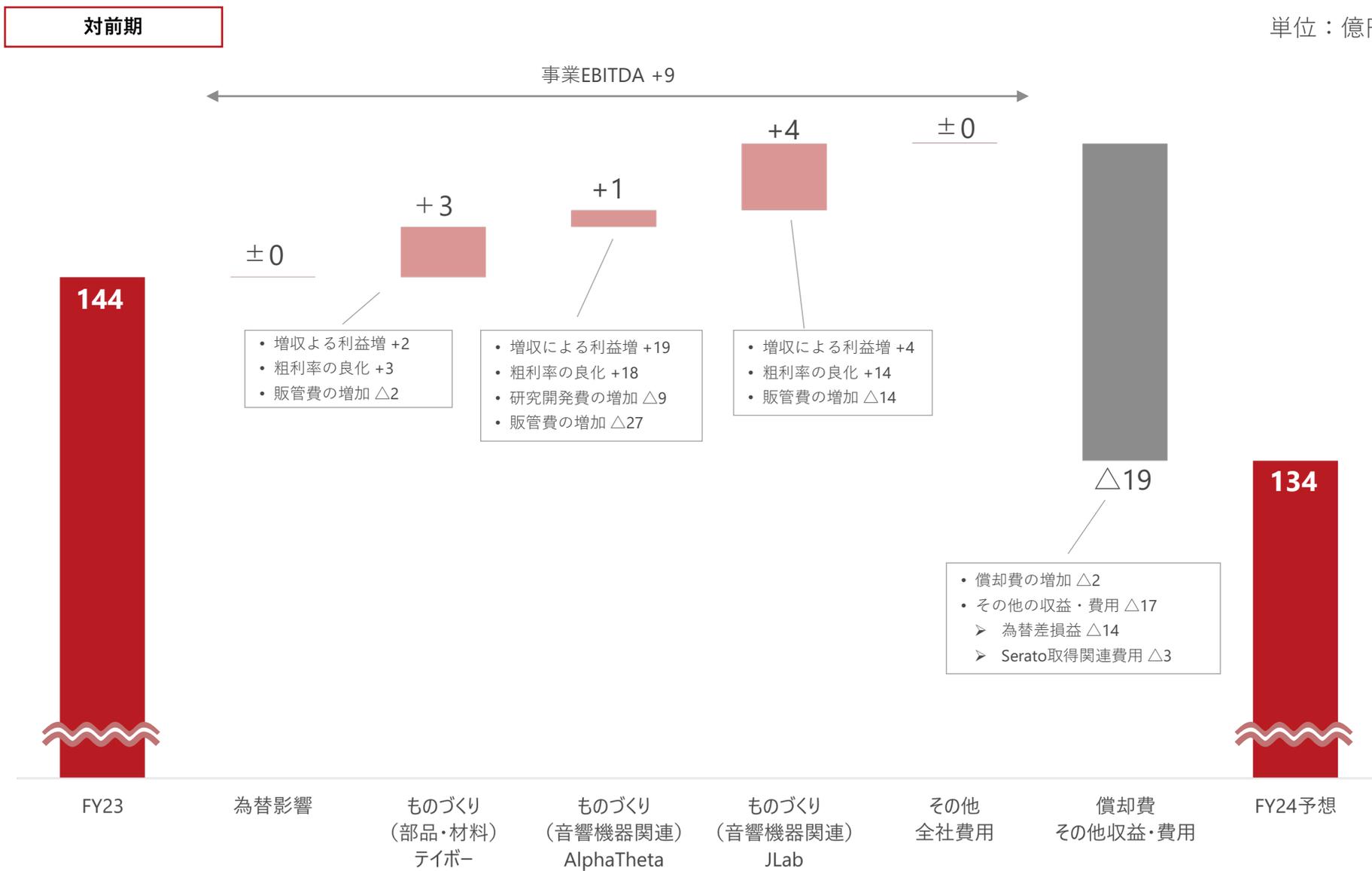
単位：百万円		FY23	FY24予想	増減額	増減率
売上収益		91,552	97,600	+6,047	+ 6.6%
事業EBITDA		17,875	18,800	+924	+5.2%
事業EBITDAマージン		19.5%	19.3%	-0.3%	-
営業利益		14,462	13,400	△1,062	-7.3%
当期利益		10,199	8,600	△1,599	-15.7%
為替レート (平均)	米ドル (円)	140.6	140.5	-0.1	-
	ユーロ (円)	152.0	152.0	-	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	141.8	140.5	-1.3	-
	ユーロ (円)	157.1	152.0	-5.1	-

対前期

単位：億円

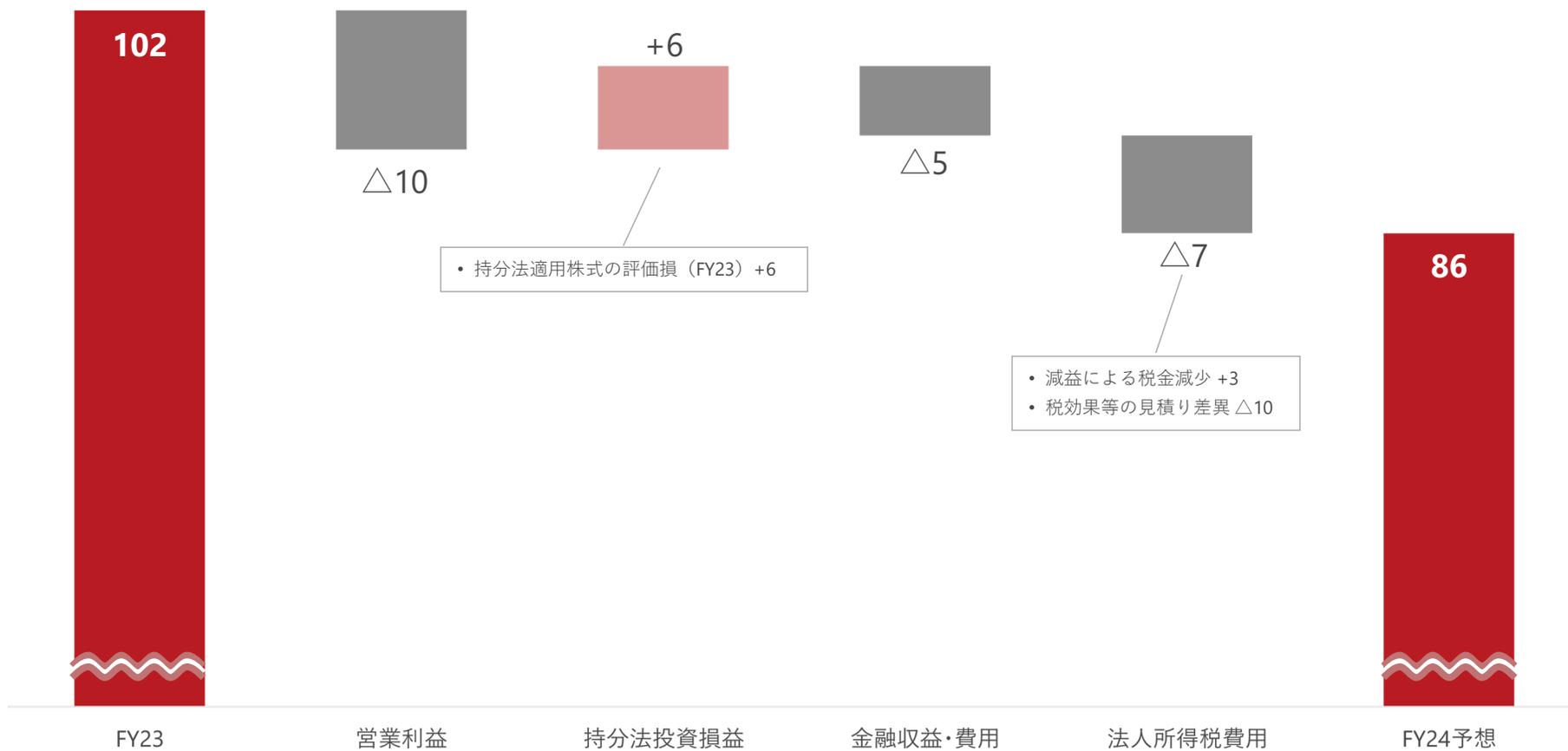


単位：億円



対前期

単位：億円

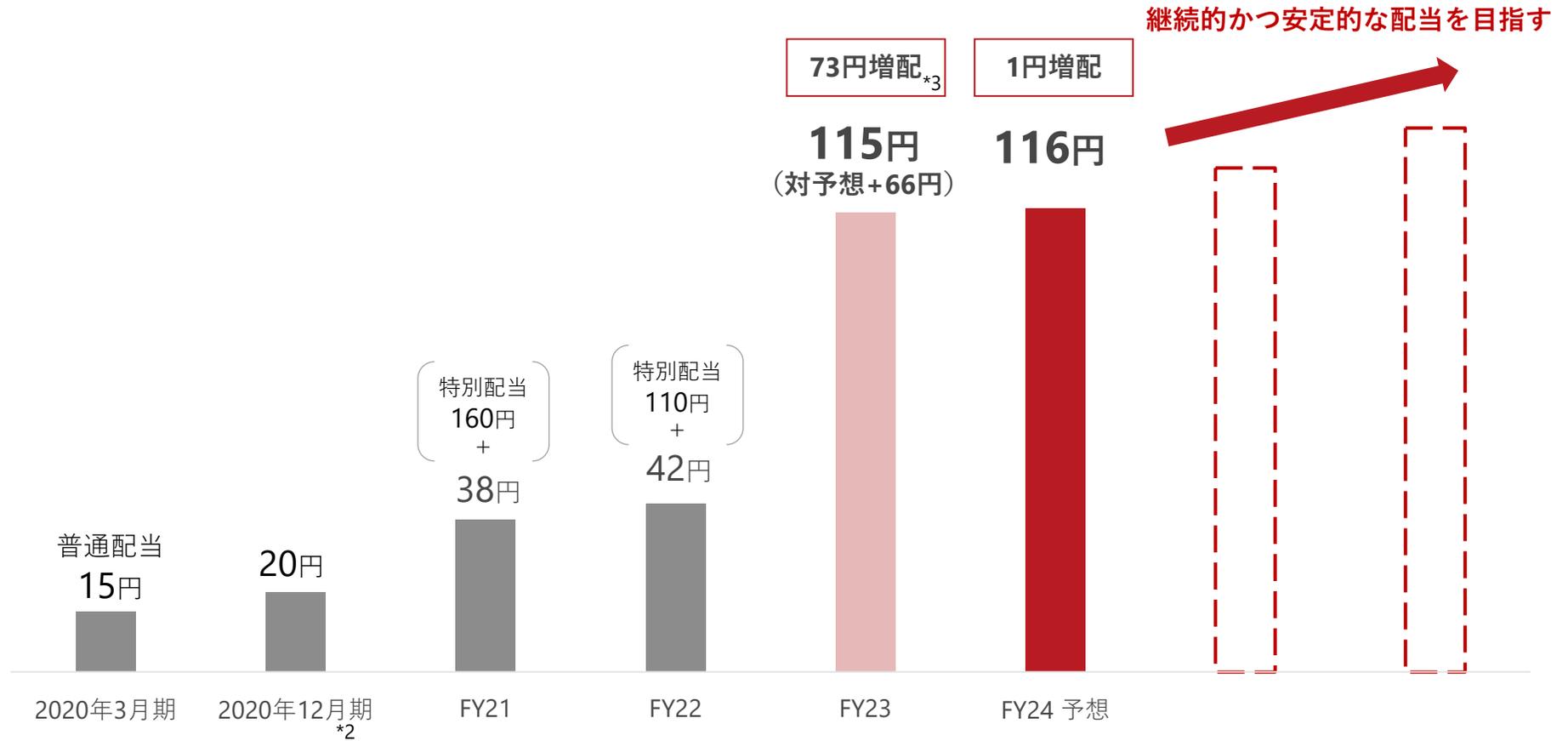


セグメント別業績予想は下記のとおり

単位：百万円		FY23	FY24予想	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	11,781	12,400	+618	+5.3%
	事業EBITDA	3,198	3,500	+301	+9.4%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	78,270	83,600	+5,329	+6.8%
	事業EBITDA	15,814	16,400	+585	+3.7%
AlphaTheta	売上収益	51,930	55,600	+3,669	+7.1%
	事業EBITDA	13,352	13,500	+147	+1.1%
JLab	売上収益	26,340	28,000	+1,659	+6.3%
	事業EBITDA	2,462	2,900	+437	+17.8%
その他・全社費用	売上収益	1,500	1,600	+99	+6.7%
	事業EBITDA	△1,138	△ 1,100	+38	-
連結合計	売上収益	91,552	97,600	+6,047	+6.6%
	事業EBITDA	17,875	18,800	+924	+5.2%

■ 配当について

配当性向40%以上を目標に、継続的かつ安定的に配当という株主還元方針に基づき、FY23は115円（配当性向40%）^{*1}、FY24は116円（配当性向48%）の予想



*1 2024年3月21日開催の定時株主総会で決議予定

*2 2020年12月期は決算期変更のため、9ヶ月の変則決算

*3 特別配当を除く

Contents

1. FY23 通期連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. 中期経営計画FY25更新
4. トピック

FY23での2年前倒しによるFY25目標の達成を受けて、目標を上方修正

	FY23実績	FY24予想	FY25目標 修正前	FY25目標 修正後	修正額
売上収益	915億円	976億円	870億円	1,000億円	+130億円
事業EBITDA	178億円	188億円	175億円	200億円	+25億円
営業利益	144億円	134億円	125億円	150億円	+25億円
EPS	285円	241円	220円	290円	+70円
ROIC ^{*2,3}	7.4%	6%程度	5%~6%	5%~6%	-
配当性向	40%	48%	40%以上	40%以上	-

*1 FY24の想定為替レート 米ドル 140.5円、ユーロ152.0円 FY25目標（修正後）想定為替レート 米ドル 135.0円、ユーロ145.0円

*2 ROIC=NOPLAT（営業利益×（1-みなし税率））÷投下資本（ネット有利子負債+資本合計の期首期末平均）

*3 想定資本コスト（WACC）5%~6%

セグメント別の目標数値を下記のとおり修正

単位：億円		FY23実績	FY24予想	FY25目標 修正前	FY25目標 修正後	修正額
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	117	124	160	128	△32
	事業EBITDA	31	35	55	37	△18
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	782	836	690	855	+165
	事業EBITDA	158	164	130	172	+42
AlphaTheta	売上収益	519	556	400	565	+165
	事業EBITDA	133	135	85	138	+53
JLab	売上収益	263	280	290	290	-
	事業EBITDA	24	29	45	34	△11
その他・全社費用	売上収益	15	16	20	17	△3
	事業EBITDA	△11	△11	△10	△9	+1
連結合計	売上収益	915	976	870	1,000	+130
	事業EBITDA	178	188	175	200	+25

*FY24の想定為替レート 米ドル 140.5円、ユーロ152.0円 FY25目標（修正後） 想定為替レート 米ドル 135.0円、ユーロ145.0円

中期経営計画 FY25における3つの重要施策は下記のとおり

重要施策1

- グループ事業の既存分野の強化及び成長分野への投資育成により、成長性と革新性の高い事業グループへ

重要施策2

- ROE8%に向けた財務戦略の推進

重要施策3

- サステナビリティやガバナンス経営の推進

目標数値を修正。コア事業（ものづくり）各社の重要施策は変更なし

	目標数値	既存/基盤ビジネス	成長/新規ビジネス
テイボー	売上：128億円 EBITDA：37億円	<筆記事業> ・高付加価値製品の開発 ・新興国、中国への販路拡大 <コスメ事業> ・中国を主軸に、戦略製品の販路拡大 ・新しいアイライナーの市場提案 ・PBTブラシの拡販	<MIM事業> ・高品質、量産体制を活かし新分野、世界への拡販、売上収益を2倍以上へ <新分野事業> ・芳香剤、医療などの新規用途へペン先技術を活かしたテイボー製品の販売強化
AlphaTheta	売上：565億円 EBITDA：138億円	<DJ機器事業> ・DJ機器での技術力・ブランドの強みを活かした提供価値の更なる革新、重点地域へ販路拡大 ・ハードウェア×ソフトウェア等による、顧客を中心とした体験価値の提供	・「新たな顧客層に向けたDJ-Lifestyleの提案」「音楽制作機器」「音楽演奏に係るデータ事業」など主事業の隣接市場でのサービス拡充と収益化 ・ソフトウェアサービスで収益40億円以上を目指す
JLab	売上：290億円 EBITDA：34億円	<パーソナルオーディオ事業> ・米国以外地域への販路拡大（米国外売上シェア30%以上目指す） ・新製品のスピード投入とコスト競争力の強化 ・品質、生産体制管理の安定	・周辺事業への進出、パーソナルテクノロジーカンパニーを目指す ・ブランドアンバサダー、スポーツ支援など製品を通じた社会貢献（CSR）

財務戦略は変更なし。ROE8%以上に向けて、キャッシュフロー創出力を高め、成長投資はしながらも、財務健全性を維持し、継続的かつ安定的な株主還元を実施

キャッシュ フロー創出

- **事業EBITDAマージン20%以上**
- **ROIC 5%~6%** (WACCを上回る水準)

成長投資

- **各事業の成長領域**に積極的に資本を投下
- **コア事業強化のためのM&A**を検討

株主還元

- 配当性向**40%以上**を目標に継続的かつ安定的に配当

資本政策

- **Net Debt/事業EBITDA 3.0以下**を目安に財務健全性を維持

キャピタルアロケーション（FY22からFY25の4年間累計）及び成長投資内訳を更新

資産売却 950億円 ^{*2}	成長投資 740億円
営業CF 450億円 ^{*1}	株主還元 210億円 ^{*3}
	借入返済 450億円 ^{*4}

成長投資内訳

FY22～FY25

生産能力向上・合理化等 （テイボー）	10億円
DJ Monitor及びSeratoの株式取得等 （AlphaTheta）	100～120億円
DX・システム投資	20億円
現状設備更新	40億円

10年後を見据え

既存事業の強化	550億円
新規事業やM&A	
サステナビリティ推進	

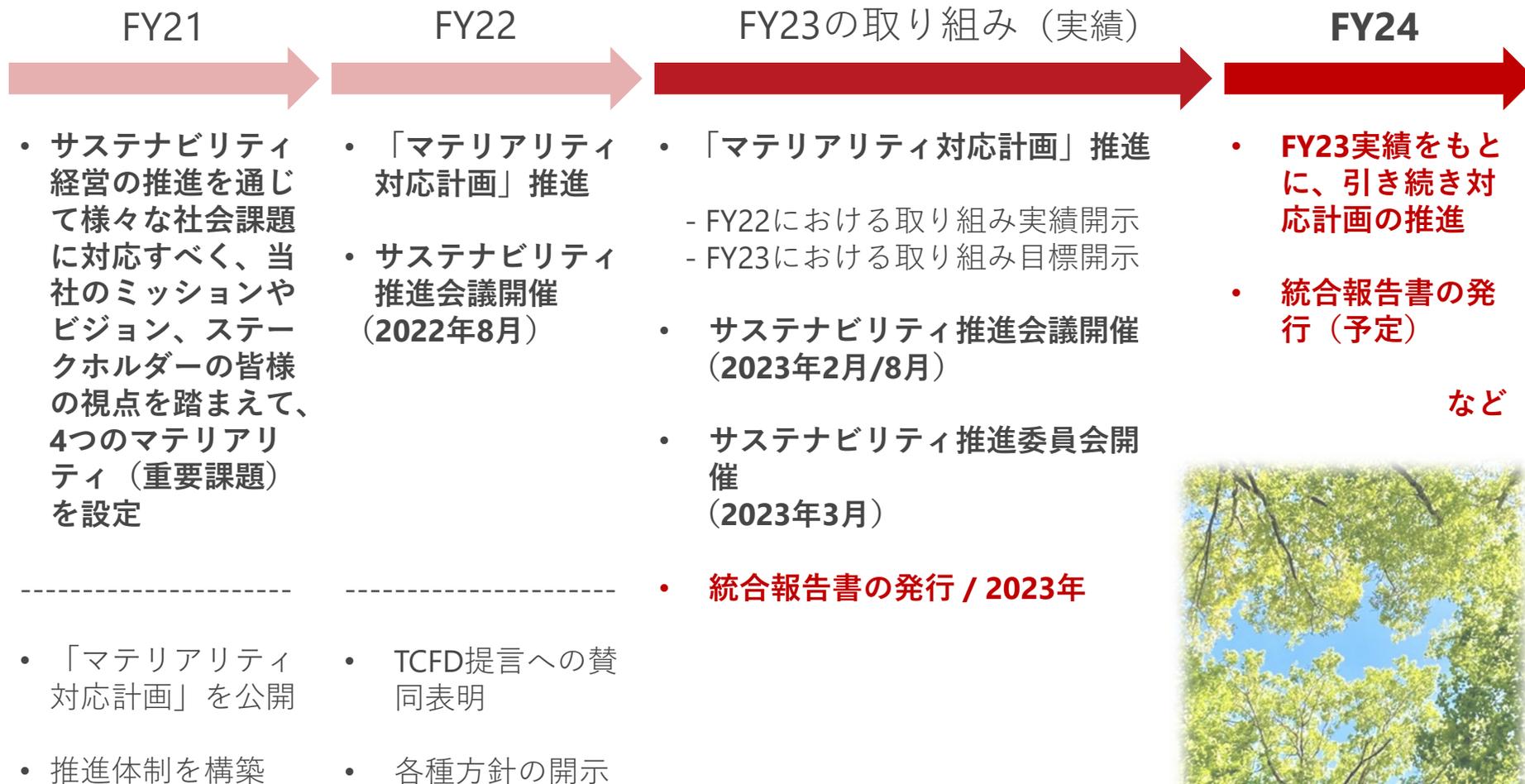
*1 資産売却で発生する税金控除前の数値

*2 資産売却で発生する税引控除後の数値

*3 特別配当100億円を含む

*4 繰上返済200億円を含む

FY23の統合報告書発行をはじめ、引き続き適切に情報開示を進め、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長を目指す



Contents

1. FY23 通期連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. 中期経営計画FY25更新
4. トピック

- 2024年1月より「サステナビリティ推進室」を新設
- ESG（環境、社会、ガバナンス）投資のための株価指数である「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄として新たに採用

ノーリツ鋼機グループのサステナビリティ

No.1/Only1を創造し続ける事業グループとして、世界水準の技術や品質を持ったものづくり各社の事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

- **専門部署の新設（サステナビリティ推進室）**

2021年度に4つのマテリアリティ（重要課題）を設定、「マテリアリティ対応計画」と目標を公開し、環境・社会・ガバナンス上の課題解決に向けた取り組みを進めてまいりましたが、2024年1月より、専門部署を新設いたしました。

- **「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄として新たに採用**

当該指数は、米国のMSCI Inc.が開発・運用するESGインデックスの一つで、各業種においてESG評価の高い銘柄が選定されています。企業のESGへの取り組みに着目する世界の投資家が参照する指数であり、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESG投資指数としても採用されています。

引き続き、グループで掲げたマテリアリティに基づき、事業を通じて持続可能な社会の実現に努めてまいります。

- 2023年9月、都田技術センターとMIM開発センターにソーラーパネルを設置、太陽光発電開始
- 浜松市の高校生による工場見学会や小学生を対象とした企業見学会を実施

■ 設置したソーラーパネル



■ 見学会の様子



都田技術センター



MIM開発センター

- 2024年より新たに「AlphaTheta」ブランド製品を導入
- 2024年2月、同ブランド第一歩の製品として、持ち運べるオールインワンDJシステム『OMNIS-DUO』及びポータブル・ワイヤレスDJスピーカー『WAVE-EIGHT』を発売予定

OMNIS-DUO



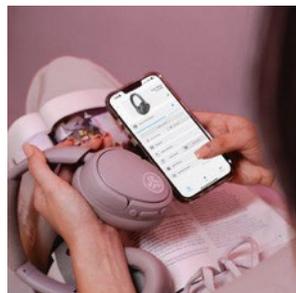
AlphaTheta

WAVE-EIGHT



- CES 2024にて、新商品として展示した『JBuds Lux ANC Headphones』が、「CES Picks Award from TWICE」受賞、また2023年に発売され高い評価を得た『JBuds Protect』もCES 2024の「The Most Innovative」受賞
- PGAツアープロ2名とパートナーシップ締結など、新たなスポーツ分野へも協賛開始

■ JBUDS LUX ANC OVER-EAR HEADPHONES



■ PGAツアープロとのパートナーシップ



KEEGAN BRADLEY 選手（左）とSEPP STRAKA選手（右）

KEEGAN BRADLEY 選手について

アメリカ・バーモント州出身のプロゴルファー、PGAツアーで6勝、世界ランキング15位（2024年1月時点）

SEPP STRAKA選手について

オーストリア・ウィーン州出身のプロゴルファー、PGAツアーで2勝、世界ランキング17位（2024年1月時点）

Appendix

単位：百万円		FY23 2Q累計	FY24 2Q累計予想	増減額	増減率
売上収益		41,469	45,000	+3,530	+8.5%
事業EBITDA		8,046	8,600	+553	+6.9%
事業EBITDAマージン		19.4%	19.1%	-0.3%	-
営業利益		7,365	5,700	△1,665	-22.6%
当期利益		4,454	3,700	△754	-16.9%
為替レート (平均)	米ドル (円)	134.9	140.5	+5.6	-
	ユーロ (円)	145.8	152.0	+6.2	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	145.0	140.5	-4.5	-
	ユーロ (円)	157.6	152.0	-5.6	-

単位：百万円		FY23 2Q累計	FY24 2Q累計予想	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,808	5,900	+91	+1.6%
	事業EBITDA	1,522	1,600	+77	+5.1%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	34,984	38,300	+3,315	+9.5%
	事業EBITDA	6,938	7,600	+661	+9.5%
AlphaTheta	売上収益	25,184	27,600	+2,415	+9.6%
	事業EBITDA	7,053	7,100	+46	+0.7%
JLab	売上収益	9,800	10,700	+899	+9.2%
	事業EBITDA	△115	500	+615	-
その他・全社費用	売上収益	675	800	+124	+18.3%
	事業EBITDA	△414	△600	△185	-
連結合計	売上収益	41,469	45,000	+3,530	+8.5%
	事業EBITDA	8,046	8,600	+553	+6.9%

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

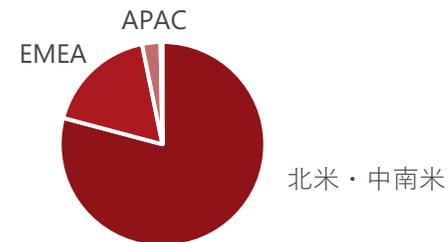
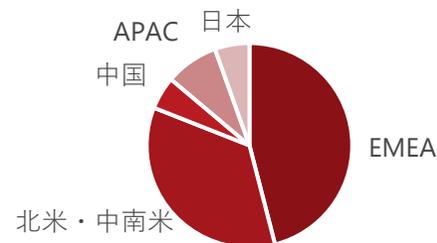
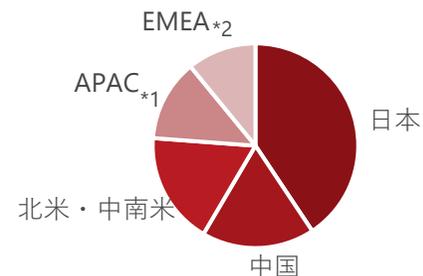
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY23 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

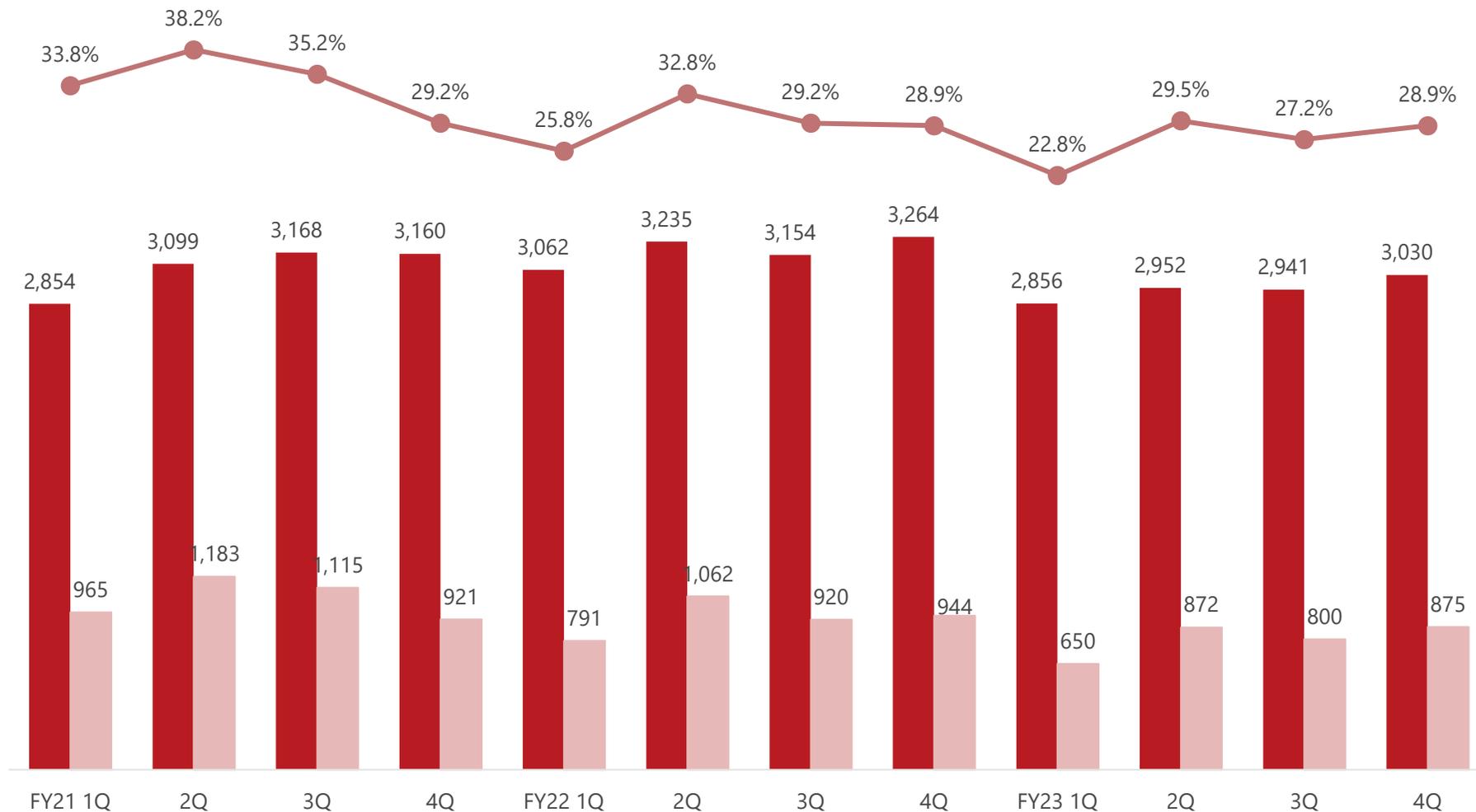
為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

為替レート of 1円円安による影響額

通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	140.5円	+3.7億円	+0.1億円	+0.2億円
ユーロ	152.0円	+1.6億円	+1.4億円	+1.9億円

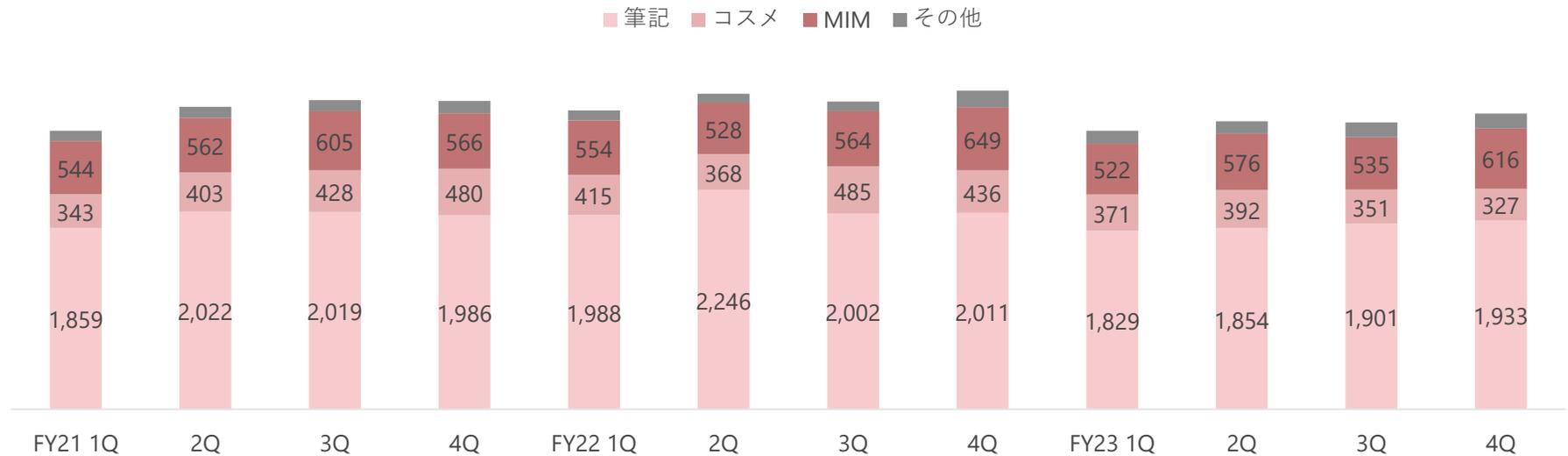
■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



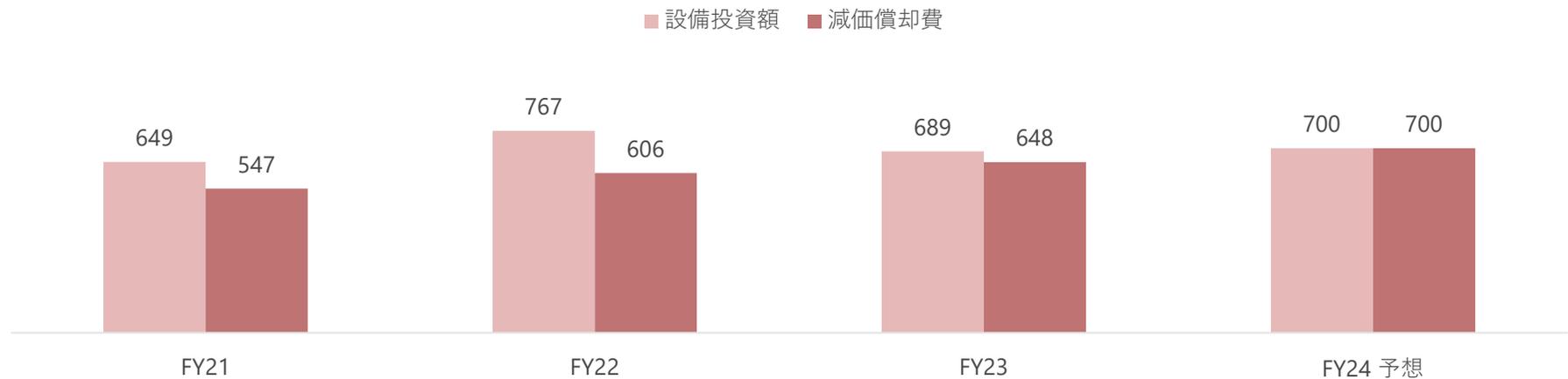
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円

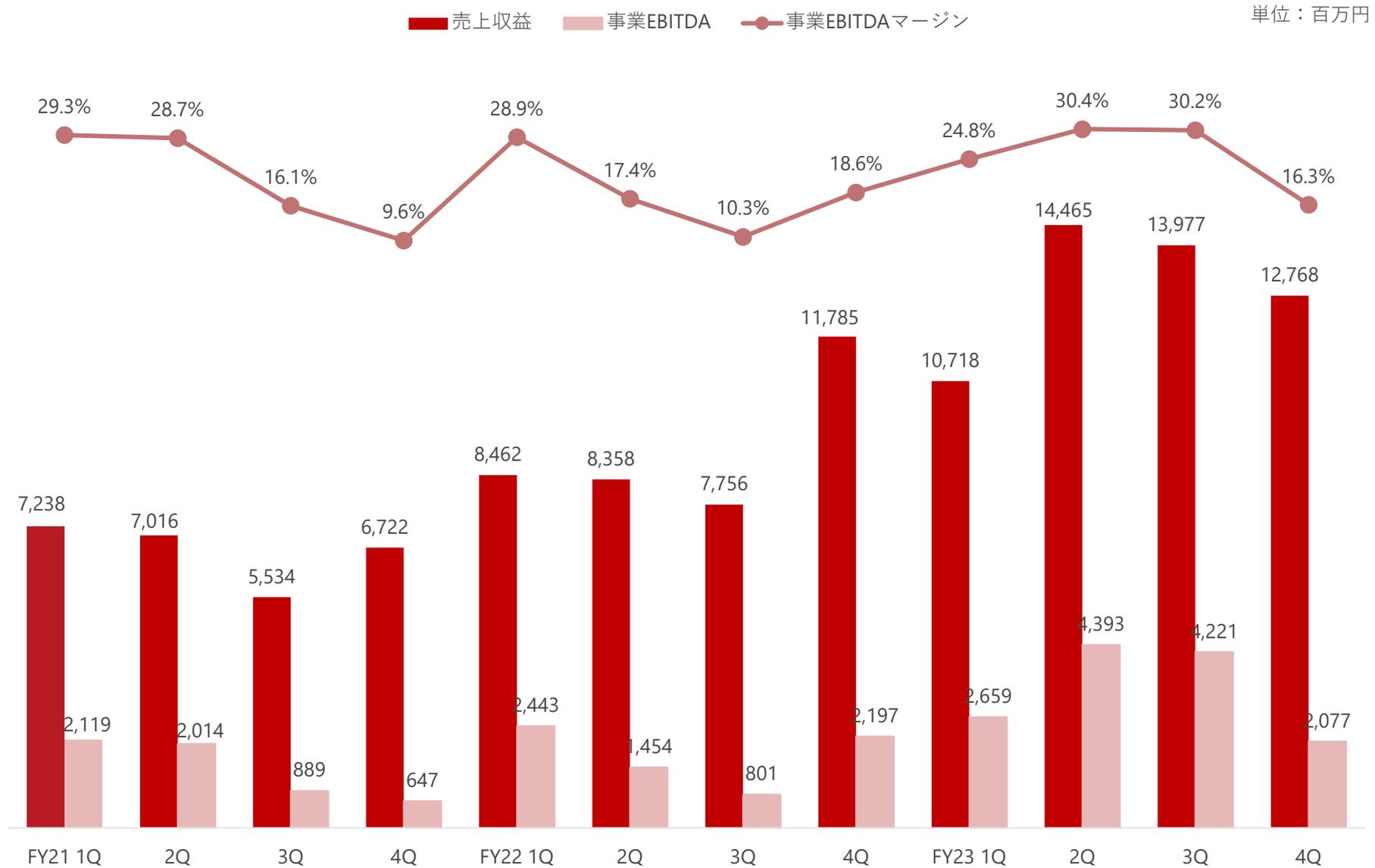


設備投資・減価償却費^{*1}

単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

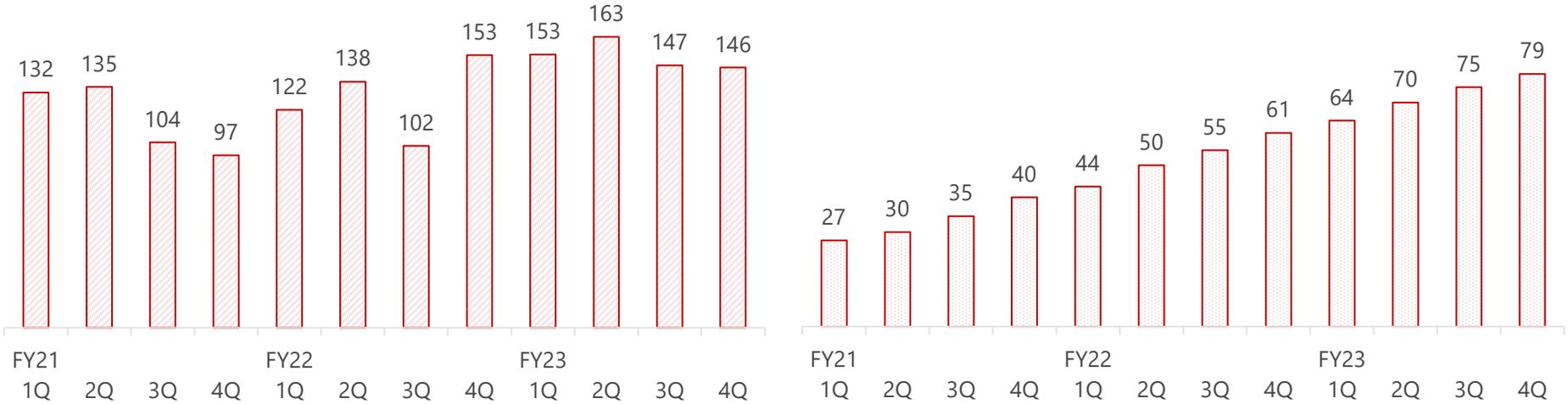


DJ機器出荷台数

単位：千台

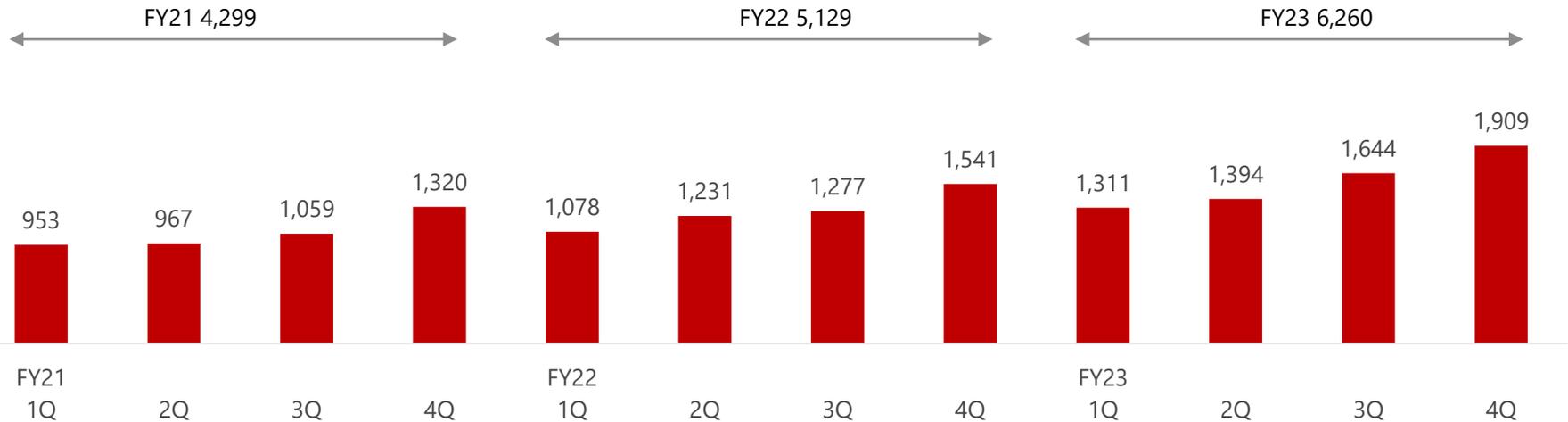
DJ向けアプリケーションMAU *1

単位：万人

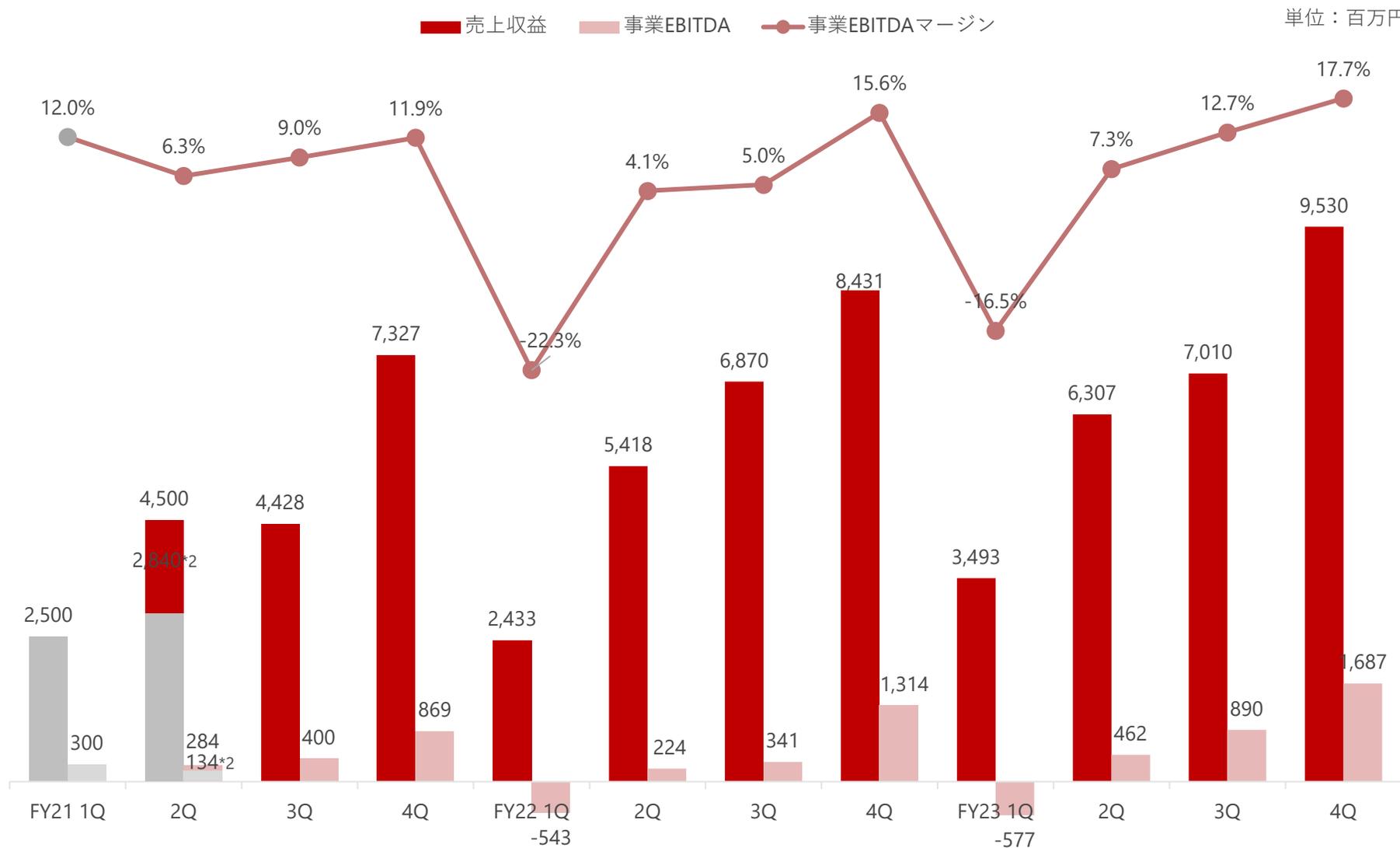


研究開発費

単位：百万円

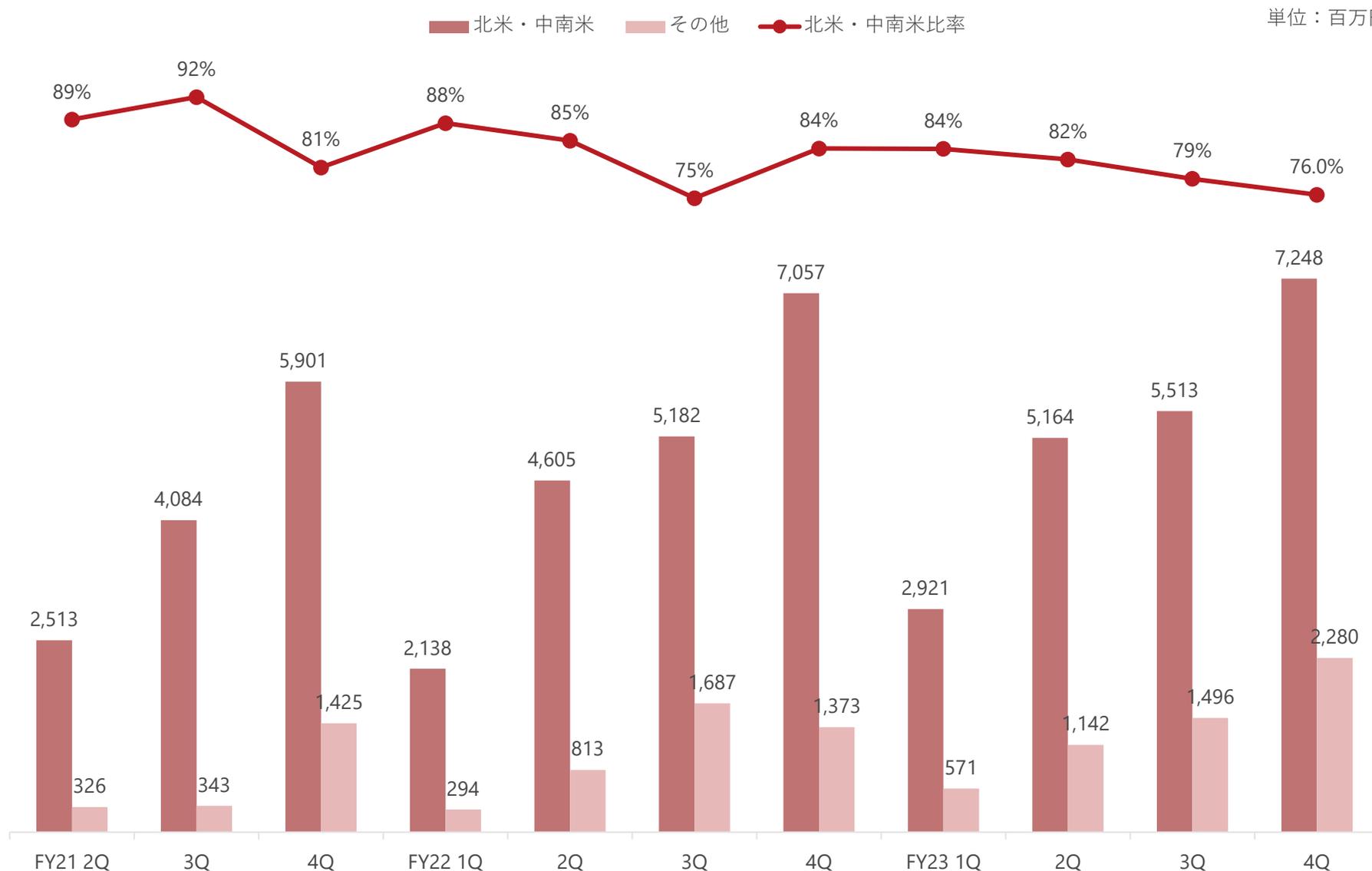


* FY23 1Qの決算補足説明資料より、rekordbox ver.6以上のMAUに変更。MAUはFY21 1Qに遡及して変更済



*1 グレーの期間は、グループ外のため参考値。米国会計基準。1米ドル106円で換算

*2 2021年5月にグループ入りした以降の金額



*2021年5月にグループ入りした以降の金額

社名 ノーリツ鋼機株式会社（東証プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		伊庭野 基明
	大塚 あかり		高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer , CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売